京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜錄

内外應酬　一記者

龍山の民籍調査に就て

昨紙所報の如く、龍山民團にては去一日より民籍簿の整理に着手せり、誠に以て悸ばしき事共なり、若し在來のまゝにして京城民團との合併成りたらんには、現在の民團理事者は天下の嗤笑を招きつべし、否恐らくは世人を驚倒せしめつべし、何となれば龍山民團役所に備はれる民籍簿のアテにならざる事は決して韓政府のそれに遜色なければなり、例へば龍山民團の民籍簿が八千人居留民在るを示さば、开は韓人が千里の江山二千萬の人口を有すと云ふと一般、全然アテにならざることとなればなり、實際吾人は、居留地の行政は何を根據として施行されつゝありしかを久しく怪しみつゝ、且興味を以て研究しつゝありしなり、然るに民團理事者は、夫れを是れより調査し整理せんとす、龍山居留民の爲に賀すべきなり今より一ケ月前、京城民團議員皆川廣濟氏が、京龍合併問題に關して書を本紙に寄せ、反對の意見を發表せし時、龍山民團に於ける徴税成績の甚だ不良なることが有力なる理由の一たりしが如し、吾人は之れを以て龍山居留民の一大恥辱となせりき、然れども龍山民團に備附されたる民籍簿には人は既に在らず名をのみ存する者頗ぶる多くして、之れに漏れる調定額の杜撰極まるものたるを察し、私かに居留民の面目を悼みしが、今次愈民籍の調査整理を行はるゝを聞き其眞實に完成されんことを希望するの余り敢て一言を費すものなり。

龍山の火葬場

序を以て今一つ龍山の事を記さん、昔ても龍山支局の通信に記せし如く龍山には火葬場無し、聞く處に依れば龍山民團に於ては火葬場の新設を居留民某なる者に請負はしめんとし、之れを民會に諮りて其の同意を得たるは既に久しき以前の事にして、而後某は數次場所を撰むで指定を得んとせしも、民團理事者及び警察にては未だに之れを決せず、と、理由は兎もあれ、吾人は急に之れを指定して一日も早く其の新設さるべきを勸告せざる能はず。

南浦築港の状況

同港に於ける築港工事の近況を聞くに三月頃より開始したる地上工事即ち堀鑿土砂揚上機据付敷地地上工事廳舍移轉敷地々上工事セメント砂及砂利置場地上工事等に好成績を以て昨日迄に終了したるが其地上せし總面積は約四千坪にして平均毎日二百人餘の韓人夫を使ひ土運車三十臺にて土塊の運搬に從事せしめたるが是れ等の地上諸工事に用ゐたる土塊は何れも堀鑿す可き區域内より取りたるものなりと▲今月の始め頃よりは土砂捨場の締切堤防工事を百五六十人の韓人夫を使役して之れも本日頃迄には全く完了するを以て引續き堀鑿に從事す可し▲受負事業としては大工が土運車の製作方法模形の製作に從事しつゝあり尚近々開始したる試堀井戸の堀鑿あり井戸は今地下十八尺餘に達する迄堀り居るも湧水の爲めポンプにて始終排水しつゝあり▲人夫は總計三百以上に達し朝は六時より午後五時半迄從事し其内午前十五分正午一時間午後十五分の休憩時間を與へ賃金は一日子供は十五錢より二十五錢大人は三十四五錢より五十錢を給與し居れり一般に勤勉にして給料の點等には不服を漏らす事なく好むで從事する傾向あり右の如きが故に總ての工事は案外に進捗し居るものゝ如しと

地方通信

◎平壌通信

●金融組合增設準備　平壌財務監督局にては今年度内に於て管内に四ケ所の金融組合を增設することに決定し内三ケ所昌城、寧邊、殷栗に設くることに確定し他一ケ所は未定なるが其の確定せし分は將來理事となるべき人を設立委員として任命し目下準備を取急ぎ居るよし

●道郡主事配當決定　新任の邦人郡主事配置は今回發表されたるが平南道にては道主事に齋藤友作、郡主事に吉田秀英、平北道は道主事に三好乾一郎黃海道は郡主事に佐藤秀助任命さる

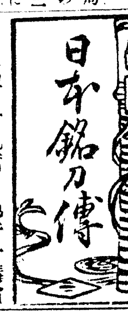
●五月中の徴税額　平壌財務監督局管内に於ける隆熙三年度諸税の五月廿日までの徴收濟額地税九十八萬七千五百十三圓戸税十二萬二千百六十圓、家屋税一萬七千六百五圓、酒税四万六百二十五圓、煙草税五万一千六百十圓、鹽税二百六十一圓、水產税二百三十六圓、鑛税二萬六千百六十八圓、雜税一萬八千四十圓

●咋今の重要穀物　咋今當地韓人側に於ける取引穀物として重なるものは粟小豆大豆黍等なるが其内粟最も多く且つ其の價格の如きも咋今石十圓五六十錢に上り尚引續き價格は昻騰する見込なり次には小豆も中々高價にて九圓より同六七十錢殆ど日本内地に於けると差異なく其他一般に於て價格は好き方なりと

●永島院長巡視　永島平壌控訴院長は安州、定州、新義州等の各方面巡視のため一日當地出發の筈なるが巡視期間は約十五日間の豫定なりといふ

●佐々木監督局長　佐々木監督局長は度支部に於ける全韓各財務監督局長の事務打合會議へ出席の爲め來る四日頃約一週間の豫定を以て上京すべし

●模範憲兵へ賞品　平壌憲兵分隊管内龍岩浦分遣所勤務上等兵…は去二月二日平北道龍川郡楊市市場に於て楊市及び其附近人民が市場税に反對し將に暴動せんとしたるとき僅少の憲兵補助員を督勵し利害を説きて人心を和げ鎭靜せしめたる處置の機宜に適し他の模範たりとて榊原憲兵隊長は賞與として日本刀一振を一兩日前平壌分隊まで送附し來りたりと



津田近江之守（卅四）

第百廿九席　邑井一講演

やがて吉良邸の表門へ來り竹林唯七行安は唯『我れは門戸を打破り一同を是れより乘込ません』と繼梯子より屋根を下り用意のカケヤを取り忠義の力百倍增し吉良公の表御門を唯だ一打ちにエイと打つ恐ろしい堅いカンヌキも折れて御門は左右に開いたれば掛り貝を音太に吹立て掛り太鼓をドン〳〵と打鳴す時は御門を開けて二十餘人表御門より侵入に及び各々聲を揚げ　一同『我々は播磨赤穗の城主淺野内匠頭の家來共たり君父の仇共に天を戴かずの騒ぎ揮りながら吉良殿の御首頂戴の心願たり哀れ上野介殿出合ひ玉へ』と呼はりたり、玄關の戸障子を强三の弓を以て一同が之を取外づし奥を臨んで馳込んで參つたり、此時玄關のお宿り番は上杉附人の一人新貝彌七郎さいふ若侍、今日のお茶の御納會でお客樣が大層あつて、お茶が濟んでから藝者を呼んで御酒宴があつて、お客のお歸りが四つ少々前で、一同寢所を敷いて縮りを致し寢に就いて、トロ〳〵眠の間もなく此騷ぎ、夢驚かす浪人の討入だと聞くよりガバと刎起き、寢卷の儘襷を綾取り尻端折り上げて枕刀を引下げて玄關に立出で　彌『アイヤ淺野の痩浪人の高家へ夜陰亂入を爲すは盗賊夜盗に均しき奴、上杉附人の一人新貝彌七郎此處に控へたり、來つて勝負に及ぶべし』と呼はつたり大石良雄聞よりも　良『手向ひ致さば是非に及ばず斬つて捨ろ』の指圖の下より敵『應』と答へて現はれたるは不破數右衛門和泉守兼定の名刀を引拔いて彌七郎と暫く挑んだるが、互角にして勝負附かず三村次郎左衛門大きに焦燥つて飛んで出で　次『不破氏助勢』の一言『エイと拔打に斬かくる』刀は名に負ふ左四郎貞宗研師は竹屋喜兵衛光信斬人は三村次郎左衛門のことなれば彌七郎大袈裟に　彌『無念』と一聲此世の別れ、北に向ひて打倒るゝ數右衛門透さず是等の首を打落し、之をれ玄關の正面と向けて獄門のやうに斬かける、是れは即ち血祭を爲したるものと見ゆる、其處へ松村習兵衛老人が這入つて來てお玄關にある弓弦を皆刀を拔いて切つて仕舞つたのは、若し飛道具を掛けられては堪まらぬといふ用心一同の浪人奥を目差して斬込んで來ると使者の間の守役が上杉のお附人天野貞之丞といふお方是れも浪人の打入りと聞いて、矢張寢卷で襷を綾取り九尺柄の手鎗を以て名乘の出る所へ出會はしたのが堀部彌兵衛金丸といふ七十六の老人、是れも鎗を持つて天野貞之丞と應對に及ぶ、彌兵衛はお旗本の大導寺倉之助のお弟子にて鎗術は殊に名人なるが七十古來稀なりといふ七十六の高齢心は矢猛に焦燥ると雖も足手が自由になりませぬから血氣の天野に突立てられ左にタヂ〳〵右にタヂ〳〵今ば彌兵衛此處で討死をしやうといふ所へ韋駄天の如くに駆込んで來たのは堀部彌兵衛の養子の安兵衛武庸、養父の彌兵衛危ふしと見るより安兵衛は短氣な人、聲をも掛けず、關野孫六三本杉の刀を以て只一打骨切る音が此世の暇、聲をも得立てず貞之丞、前にズンデンドウと打倒れる彌兵衛怪訝な顔をして　彌『ハテ不思議なこともあるもの、己れは敵を斷いた覺えはないのに、敵が是れへ倒れるといふは眩暈でも催ふしたか急病か』と兩眼を開いて能く見ると胴切りになつて胴と胴の下が別々に分れて居る、愈々不思議と思つて居ると向ふでクス〳〵と笑ふ者がある　彌『誰れぢや』安『父上安兵衛でござる、餘程骨折の御様子一寸一刀美事に胴切りに致しました』彌『扨ては其方の助太刀であつたか、是れから夜明けまでは長い間の戰ひ、我れ强敵に出會ひたる時には助勢を致さうかと一聲掛くる筈なるに安兵衛其方の助太刀故我鎗先に血を塗らざること遺憾千萬不孝の卵之に過ぎず再び斯ることあらば七生までの勘當に及ぶ』と强情な老人、安兵衛不理屈を聞いて居るのは面倒と奥を差して飛込んで往く此時裏御門には大石主税の組二十三人、塀乘りは奥田定右衛門が致して門を明けて主税の組々飛込んで參る、彌兵衛は悴に敵を取られたといふのを恐ろしく立腹して奥を差して踏込んで來る。



東京電報

▲東宮殿下行啓 皇太子殿下には明四日東京御出發相州小田原の山縣公別邸に御二泊の上六日東京に御還啓あらせらるべき旨仰せ出されたり(三日)

▲御見舞の勅使 天皇陛下には久しく御靜養中なる有栖川宮妃殿下の病氣御見舞として內大臣秘書官日高秩父氏を御差遣相成たり

▲伏見宮御歸期 伏見宮殿下には一昨日巴里御發露都に向はせられたる旨其の筋に電報ありたり殿下には二日間同地に御滯在同國皇室御訪問あらせられ八日莫斯科發西比利亞鐵道を經て哈爾賓に出でさせられ滿洲鐵道沿道御視察の上大連より御歸朝の御豫定なり

▲淸國公使歸國謁見 淸國公使胡惟德氏は今回外務部右侍郎に榮轉近日歸國に付御暇乞の爲め來る六日參內天皇陛下に拜謁仰せ付らる

▲朝香宮御對顏 朝香宮鳩彦王同妃允子內親王兩殿下には二日參內天皇陛下に御對顏あらせられたり(同上)

▲赤十字社總會 本日日本赤十字社總會は日比谷公園に開く皇后陛下、皇太子妃殿下臨御あらせられ陛下より令旨を賜はる會衆數萬に達し盛を極む(同上)

▲參與官候補者 總務長官の候補者として比較的呼聲高きは高知縣知事石原健三氏にして參與官中にも一二の交迭疑なく其後任は滿鐵理事久保田政周及茨城縣知事坂仲輔の兩氏の色なる(同上)

▲新統監渡韓期 寺內統監の渡韓期は愈々二十日後と內定せり(同上)

▲陸軍の大更迭 第四師團長土屋中將は來る八月二十五日を以て定期年齡滿了に就き陸軍大將に昇進して後備役に編入之れを同時に敎育總監大島大將は軍事參議官に補せられ近衛師團長上田中將は大將に昇任の上敎育總監となり第十四師團長鮫島中將は近衛師團長に第十師團長安藤中將は第四師團長に補せらるゝ事に內定し又來る二十五六日頃右の外三師團長及旅團長に異動あるべし(同上)

▲五月末貿易額 五月末日現在の輸出貿易額は壹億七千五百十六万五千圓輸入額は貳億百八十萬圓にして二千六百六十三萬五千圓の輸入超過を示せり(同上)

▲海軍參謀長會議 伊集院軍令部長の召集に係る各鎭守府要港部參謀長會議は二日海軍省樓上に於て開會伊集院軍令部長の訓示あり引續き國防上に就き討議したり(同上)

▲統監府官制改正 現統監府官制は寺內新統監の意見に基き近く改正すべく目下新正副統監間に研究中なれば事實として現出されん(同上)

▲統監府出張所昨今 統監府出張所には日々在京の各官鳩首するも徒らに戰々恟々たり(三日)

歐州電報

▲倫敦金利下落 倫敦市中金利は引續き十六分の一乃至八分の一方下落を示せり(二日)

▲觀兵式と德川公 獨逸皇太子殿下は一日チンヘツフィールドに於て施行の陸軍觀兵式に行啓あらせられ當日白耳義皇帝を始め淸國軍事視察使德川公爵大浦男爵等列席したり

北京電報

▲淸國露探處刑 軍事洩泄者趙都卿は天津に於て斬罪に處せられたり先に汪革命黨員を輕きに處したるに今之を斬りたるは適當なる處置なりと云ひ居れり(三日)

▲日本人に課稅 奉天交涉使韓國均氏は南滿沿線各附屬地に於ける日本人の雜穀賣買、豆粕、燒酎其他の製造に對し課稅方を日本總領事に照會交涉せりとの錫總督の訓令により目下各條約實施に付精密なる調査を遂げつゝあるが淸國の官憲は該交涉は鐵道地帶の性質及び附屬地に關する一切の問題を根本的に解決すべく重大問題と認めつゝあり

▲東三省興業銀行 錫東三省總督は奉天に興業銀行創立の計畫を立て諮議局に株式募集其他一切の便法を諮問し各議員は目下之が研究中にて不日開會の臨時會議に附し決定せらるべし(同上)

▲山西省の大飢饉 淸國山西省各地飢饉の爲め頻死の窮民數千に達し慘狀を極め北京政府は地方官に救濟方を電命せり(同上)

雜報

伏見宮の御來韓 日英博覽會御參列の爲め目下歐洲御滯在中の伏見宮殿下には西比利亞鐵道にて御歸朝の途次來る十七日大連御着二十日頃御來韓遊ばさる由なり

兼任統監と議會 帝國議會に於ける韓國問題の說明は統監府高等官が政府委員として說明を爲すに過ぎず若し議員にして韓國統治上重要事件に關し說明を求むるあらば首相之に答ふるあるも元來首相は韓國の直接統治者にあらず又統監は親任官として政府委員たる能はざると同時に國務大臣にあらざれば常に議會と沒交涉なる爲め隔靴搔痒の感に耐へず然るに今回統監を兼攝したれば後藤遞相が總裁を兼ね且つ國務大臣として鐵道政策の說明を議會に於て試むるが如く韓國問題も統監たる陸相が直接論議するを得べしと

●會計事務整理方針 內部に於ては今般會計事務に關して嚴密の監督を爲すことに決定したるが既往の經驗に徵すれば不整理の原因は多く監督放慢の結果なること判明したるに依り今後は(一)會計係に適材を得ること(二)監督上官をして自ら會計法規に通曉して細密の監督を加へしむること(三)豫算を嚴守せしむること(四)出納證明及び出納簿を正確ならしむること等を實行する筈なり

●土地調査第一着手 土地調査局にては近日より調査員を派遣して全國の土地調査に着手する由なるが第一着手として左の地方より始めると云ふ
京畿道交河郡以南、忠淸南道全部、忠淸北道槐山郡以南、慶尙北道西北半部、慶尙南道晉州以東、全羅北道珍山郡錦山郡附近

●兩警察署の開廳式 咸北鏡城警察署は新築廳舍落成に就き來五日又咸南惠山鎭警察署も同上十日孰れも開廳式を擧げ所在地方の有力者を招待して警察の目的及其本能を說示すべしと云ふ

秘密函と趙南升 趙南升事件は警視廳第二課に於て鋭意訊問續行中なるが始の程は言を左右に托して實を吐かず殆んど其眞相を捕捉する能はざりしが他方に於ける嚴密なる搜索の結果は有力なる證據續々發見し眼前之を擧示して糺問せらるゝより流石橫着なる彼も遂に包むに由なく平蜘蛛の如く恐入る有樣は宛然大岡裁判の喜劇、夫れに似たり茲に於て彼は事既に茲に到れば最早詮方なしと毒皿主義の自白を申立て彼の秘密函一件を曝け出し伯父君太皇帝に累を及ぼし交換的に其罪惡を遁がれんと企める杯其詭辯奸智は例の天一坊も三舍を避けん程なるが更に又數日前彼の所持せる雜書類中より別箇重要の證據書類發見せり其發見書類の何物たるかは目下豫審の範圍に屬するを以て茲に詳記するの自由を有せざるも要路の某大臣に關係を有し客年本紙に掲載せる黃金製の洗面器事件を回想せば思半ばに過ぐるものあるべし之が爲めに趙南升事件は主罪の比較的單純なるに拘はらず意外の副產物續出するより其落着期は殆んど未知數の有樣なり尙ほ事務關に屬するも彼は巧みに左る貴顯の筆蹟を描寫し一見眞擬を辨別し難き程に緻を極め此手段によりて屢々非行を遂げ居りと云ふ

船舶檢査の日割 關稅局は船舶檢査執行地及本年度檢査期日を左の如く定めたり尙は檢査の狀況及天候等により其の期日を伸縮する事あるべし

新義州	自九月六日至九月十五日
群山	自八月八日至八月十四日
木浦	自七月十四日至七月廿四日
馬山	自八月四日至八月八日
城津	自八月三十一日至九月六日
淸津	自九月九日至九月十五日

前項期日內に測度及檢査を受けんとする者は檢査執行開始期日一週間前に申請書を當該稅關に提出し又た其船舶檢査執行地以外に在る者は檢査執行開始期日まで回航受檢準備を爲すべしと

の顯著なるべきを惟ひ去五月廿七日附を以て豫備費金中より約五千圓支出方を度支部に請求したりしが同部に於ては目下詮議中なりといふ

●太田倉庫設建渡工 豫て建設中の太田所在五十坪の倉庫は此程全く竣工を告げたりしにより豫定の如く二三日前同地農銀支店は度支部建築所貸下げ引繼を了したりしと

●工兵水中爆破演習 工兵第二大隊第一中隊にては來る十一日午後一時より二時まで漢江沿岸西氷庫に於て水中爆破演習を行ふと云ふ

●道郡主事に講話 內部は第三回着任の新任道郡主事を今四日午前官房に召集して赴任後の事務打合せを行ひ更に山根囑託より衛生に關する一場の講話あるべしと云ふ

●社告

統監曾禰子爵遂に病を以て掛冠して寺內陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は茲に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

統監更迭紀念號

▲紀念號發行日 來る六月廿五日

▲記事の內容 韓半島に關する名士の議論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲頁數と發行部數 約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月

京城新報社

●北朝鮮の電氣事業 大阪の右近權左衛氏外七名は資本金五十萬圓(株式會社組織にて)淸津羅南間に電氣鐵道布設、兩市街に電燈電力の供給及び機械器具の販賣計畫を立て此程統監府へ申請書を提出したり然るに茲に又東京の藤間純敎氏外三名も資本金十一万圓(株式會社組織)にて淸津羅南兩市街に電燈電力の供給並に電氣機械器具の販賣計畫をなして同樣申請書を提出したり

●共進會と韓產出品 群馬縣前橋市に於ては本年九月十七日より同十一月十五日迄六十日間を期し關東一府十四縣聯合共進會開催に對し當縣商工部に於ては曩に福岡名古屋兩共進會の出品と相待ち韓國の產業狀態を汎く日本全國に紹介するは一層效果

●軍隊馬匹の查閱 駐劄軍獸醫部長は昨三日午前九時三十分より憲兵隊本部、京城憲兵分隊、及び筆洞分遣所、本町分遣所の馬匹の查閱を行ひたり

●仁川入港の船舶 仁川港二日の入港船は山東丸(上陸男一五女六)一隻にして出港船は日高(乘男六二女三)一隻

●女子事務員採用 日本赤十字社仁川支部に於ては數日中より事務員として女子を採用する事に決したりと云ふ

●村田中尉の歸任 過般來鐵原地方へ出張中なりし京城憲兵分隊附憲兵中尉村田多忠氏は昨三日歸任したりと

京城民團の戶口 五月末に於ける京城民團の戶口は戶數八千三百三十一、人口三万二千六百七十二人にして內男一万八千〇九十四人女一萬四千五百七十八人なり之を前月末に比すれば戶數に於て百六十六戶を增し人口に於て男五百十八女三百八十六人を增加せり

惡紡績系の輸入 韓國に白綿及紡績系の輸入さるゝ數は實に巨大のものなるが利に眼の盲き大坂商人等は粗惡極まる不良紡績系を輸出し不當の利益を貪りつゝある由傳へられしを以て之が取締方法に付き當局者に就き訊したるに未だ聞く不良と認むべきものは少きが如くなるも若し試驗の結果不良のものを發見したる曉には其製造地の監督官憲に對し相當取締りありたき旨警告する筈なりと云ふ

議員改撰の紛擾 來る三十日の商業會議所議員半數改選に就て有志間に大紛擾を生じたるが仔細を聞くに最初進辰馬前田熊市兩氏は候補者として打て出で交涉の結果凡ての同意を得たるも中村會頭一派の突然反對するあり即ち承諾も無きに拔駈けしたりとの口實を附したれど實は小壯氣鋭有爲の人物を容れては中村氏會頭たる能はざるを以て此に及びたる次第にて小壯派は又根本的に一新せんとの意向あり遂に大紛擾を來したるが中村氏は一派の者をして退職すべき議員を退職せしめずと云ふ提議をなさしむるに至れり是れ巧妙なる豫防策なるが遂に無記名投票を以て是を決する事となり他數を以て制したれば少壯派は益々激憤し猛烈なる活動を開始せりと

●陽州陽平地方近況 京畿道陽州郡及陽平郡の地方は近來頗る平穩にして住民は一般に各生業に從事し今や賊徒の噂さへもなく一般我が官憲の保護と指導を親賴し一時各地に徵稅反對の聲高かりし諸稅は今や人民の誤解し居る者概してなく昨今收稅の結果頗る良好を呈せり從來國有地測量調査に關しては一般に不穩の暴動ありしも同地住民は是等に對しても何等民心の影響なく爲めに當局も施政上極めて平穩に着々其の功を擧げ居るものゝ如し而して京城原州間の交通は益々繁く邦人の旅行も日に月に其の數を增加し貨物の運搬等も盛んにして近時陽平郡南路面牛川市場の市況の如き日に隆盛に向ひ一般の形勢活氣を添へ居れり

●奧村五百子紀念碑 仁川本願寺別院境內に建設中なりし故奧村五百子刀自の紀念碑は去る一日落成したるが篆額は曾禰前統監、碑文は南條博士、書は東南家賢氏の手に成り頗る見事なるものなりと云ふ

●女學校の建築入札 南山文庫の跡に新築せらるべき京城民團立高等女學校の建築請負は二日午前十時民團役所にて入札したるが入札者十一名にして三万七千二百六十五圓八十錢にて堀內茂吉氏に落札したりと

●水野參事官の一行 滿洲視察を了へ來韓すべき內務省參事官水野鍊太郎氏の一行は豫定より少しく遲れて本月中旬入京すべしと云ふ

●江原道地方の斃牛 江原道襄陽郡附近に去る二十二日より二十九日までの間に斃牛八頭ありて牛疫の疑あれば目下取調中なりと云ふ

●俵次官の西北出張 昨紙所報の如く三日朝俵學部次官は谷書記官を隨へ平壤へ向け出發せりと

●瀨良榮氏の歸國 京城通信社員瀨良榮氏は今回退社し明五日出發歸國の筈なるが氏は東京某大新聞に入社の筈

●櫻井局長の入京 元山財務監督局長櫻井小一氏は二日入京浦尾旅館投宿

●丸田秀實氏入京 三菱造船所長の同氏は二日入京し京城ホテルに投宿す

●玉井大尉の入京 憲兵大尉玉井八十彥氏は去る二日入京山本旅館に投宿

韓人漁業の進步(庵原漁政課長の談) 日本人が韓海に出漁する爲めに近年に至り韓人の漁業が進步したること頗る著しきものあり其二三の適例を擧ぐれば

一、咸鏡道に於ける明太漁業は韓國三大漁業の首位にありて韓人獨占の漁業に屬す例年五十日以內の短漁期に於て百萬圓以上の產額あり此漁業が斯く盛況に至りたる所以は今より十二三年前日本漁業者が手繰網を用ひて此漁業を試みしに其成績頗る良好なりしも嚴寒の節季に於ける操業なるを以て日本人は其寒氣に堪へず遂ひに此網を韓人に賣り其使用方法を敎へて歸國せしに韓人は之を使用して意外の良結果を得たる爲め遠近相傳へて之を倣ひ今や明太漁の漁具の過半は此手操網を用ふるに至れり

一、江原道沿海に於ける韓人唯一の漁具は地曳網(鰯漁を主とす)にして從來葛皮、藁繩等を材料として此網を作りしに潮流の抵抗を受け且つ重量增加の爲め徒らに多數の人夫を要するのみならず粗笨なるを以て漁獲も少なかりしが日本人の使用せる地曳網は麻又は綿糸にして使用上便利なるのみならず其規模大にして成績も素より良好なる爲め韓人は之を模倣し或は其古網を買受け又其網代を購ひて此網を作るに至り其結果網代の日本より此地に輸入せらるゝもの每年二萬五六千圓に達し本道重要水產物たる乾鰯の日本へ輸出せらるゝもの十二万圓の多きに上れり

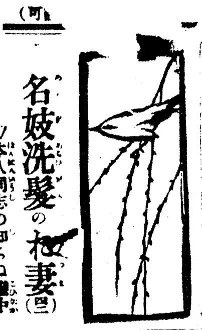
一、釜山附近より群山附近に至る沿海に於て韓人の使用する日本形漁船の多きことは實に驚くべき現象にして其使用する漁具も亦日本式のもの多きは即ち日本漁業者の所爲を見習ひ又は傳聞したる爲めにして於靑島の如きは韓人七十戶の漁業者中韓國形漁船を使用する者僅かに二隻にして其他は皆日本形船を用ひ居れり

一、濟州島は僻遠の地にして從來漁船に乏しく漁民の多くは竹木を以て筏を組み之を漁船に代用して簡易なる釣魚を營みたる爲め多少の風波にも遭難者を出すこと多かりしに近年日本人の同島に出漁してより其歸國に際して古船及漁具を島民に賣却する風習ある爲め現今にては同島の漁業は昔日に於て想像も及ばざりし進步をなせり

一、日本人の通漁せざる前には韓人の採藻は主として和布(若)甘藿(海苔)にして海蘿、石花菜、搗布等は如何なる價値あるものか如何に使用するものかを知らざりしも之も日本人の手に依りて買收の道開かれてより今や沿海漁村到る處の老幼婦女の手にて之れを採取し年額三十万圓以上の輸出を見るに至る

▲治外法權▼

寺內入道の潔癖と云つたら有名なもので彼が師團兵營を巡視する時など若し營舍の廊下に塵でも落ちて有つたら最後あの二千燭光に湯氣を立てて直ちに責任者を呼附けて掃除をさせる、コンナ風だから若し彼が塵と糞の京城へ着いたら湯氣を立通しであらう▲統監更迭に就き例に依つて內地のデモ政治屋が今後の韓國統治とか、最後の問題解決とか、知つたか振りにホザイてソレが內地の各新聞に載つて居る、倂しドレもコレも見渡すところ山家育ちか、月並みか、トント肯綮にも當らねば爲政者の參考にもならぬ、只一ト時事新報所載松田正久の意見はデモ連のに比して一步進んで居る▲松田曰く韓國の運命は已にきまつて居る、丁度死刑を宣告されたものが其執行の時機を待つて居る樣なものだ、今更彼是論議するは無用だ、まづ何を置いても韓人間に日本語の普及と日本趣味の扶殖とを計らねばならぬと▲大隈伯は寺內の兼任は伊藤の專任よりは朝鮮には良かろうと云つた、ソウシァ山縣副統監に就ては彼れ謹厚寡默体格も大きいし、女道樂はせず、博奕は打たず、亦吝嗇と云ふ程でもないから朝鮮人には良かろうと云つた▲赤十字病院設立の計畫があるソウだが之は極めて結構な事だ、大金を掛けて建てた大韓醫院は院長其他理事者が惡い爲に廢物同樣になつた、之に改革を加へて良くするのも一方ではあるが夫よりは赤十字附屬の病院を別個に立てて博愛主義を行ふが良い、ナニ金、金の事なら心配には及ばぬ。



名妓洗髪の妆妻（四）

▽入同志の知らぬ縁中 ▽測り知られぬ人の運命

◆古賀吉は遊人である、此處のシキ彼處のシキで賭事に日を暮して居るが、其仲間の話に據ると、彼は其の金を賭るぬ中は敗戦者が金に詰つて、只の一錢も答へずに古賀吉が前に控へてゐる金の束を二百圓三百圓と掴み出して費つても、氣味の悪い計りニヤくと笑つて何んとも云はぬが財布に金を収め、一度シキを一歩外に出でゝは只の五厘の金にも其の變遷を聞かねば決して財布の紐は解かぬといふ人物である▲お妻が半生を賭つた最後に、現在の亭主と成立ちを語らねばならぬ、丈けの低い色の思ひ切つて黒い森某といふが、今のお妻が内縁の夫である、人は「お妻ちやんは金で飾り屋な者に食傷したから、森さんを御亭主にしてゐる」と云つてるが、其れには人間の測り知るべからざる奇縁があるのだ▲森某は彼の相馬事件で有名な森澤正が弟である、多年嘉納の此處彼處と放浪の末兜町で一寸成功、新橋叶屋の奥向ひの米屋の二階に下宿して居た、何うした彼目か叶屋清香が婆さんと割りない仲になつて後清香が養子といふ振込みで叶屋に這入り込む事になつた、其頃お妻は妹[illegible]の世話で築地[illegible]てゐた、一夜[illegible]奴のお妻は旦那の留守に色男[illegible]折旦那の松澤が其んな事とは知らず然に濱村へ遊びに行つてると、折も森を濱村へ引入れ[illegible]すに、俥で乗り附けて來つて、お妻は旦那の手前び解く術が無く、心苦しくも「森さんはお妻ちやんの情夫ですわ、私には阿方といふものがある何うして其んな不檢束が出來ますかと旦那の前は甘く取り繕ろつたが本人同志は露知らぬ、既に潮れたは妻であつたが、程經て後漬の家の女將が口を聞いて叶屋の婆さんも森には厭ぎを附け本叶家れ妻が亭主となつて今に親方くで暮てゐる

京城電報

▲清韓人夫の闘争

昨夜廣梁灣に於て韓人夫七百名と清國人三百名とは衝突を始め双方に多數の負傷者を出したるも今朝三時に至り漸く鎮靜したるが形勢猶は不穏なり原因は平素の軋轢より也と（三日）

▲惡逆なる隠亡の處刑

▽總次は二年袖次は一年半 ▽出獄して見ろ打ち殺すぞ

去月十七日仁川柳町本願寺附屬火葬場隠亡長崎縣人日田龜次（五七）及び同人三男袖助の兩人が死人の衣類を剥ぎ取り死者に對して侮辱を加へたる事發覺し仁川署に引致取調べの上京城地方裁判所仁川支部檢事局に送られたることは當時報道したる如くなるが安藤檢事の手に依り起訴せられ三日同支部法廷に於て大谷判事裁判長として臼井森川の兩判事陪席し安藤檢事列席の上公判開廷せられたるが事件が事件なれば傍聽者百五十餘名に上り混雑を極めたり安藤檢事の論告は峻烈を極め曰く本件の如きは人倫道徳上よりも見て尤も憎むべき犯罪にして毫も同情すべき點なければ重きに従つて處斷せられたしと極刑を求刑したるに裁判長は合議の上刑法百九十條に依り總次は懲役二年、袖次は同上一年六箇月に即決宣告せられたるに對して被害者連は處刑輕きに失すと一斉に猛り立ち出獄を待つて撲殺さんと揚言せるもの[illegible]

嫉妬の無理心中

▽男は重傷、女は輕傷

中部慶幸坊細洞二統七戸中寧方に無理同家の雇人金士一（三三）妻李姓女（三七）の夫婦あり今其狀況を記せん金士一は近來精神に異狀の嫉妬燒きとて妻の李姓女は常に辨解に苦しみつゝありしが本月二日午後八時頃も主人の内房に於て家人と仕事に從事しある中下男室に居りし金士一は頻りに李姓女を呼ぶを以て何用ならんと至り見しに汝は他に情夫を見付け居ると云ふにあらずやと果ては我は此の世に望みなきに付死せんと欲するも汝を殘し置くに忍びず等種々なる言を吐きたるも深く心にも止めず金士一が云ふが儘に同衾し居りしに同人は三日午前一時頃起き出で燈を點じ南京虫を驅除しつゝありしが突然睡眠し居る李姓女の咽喉部を小刀にて抉刺しより續き刎ね起き悲鳴を上げて主人の内房に逃げ込みたるに金は返すに自分の咽喉を掻き切り打ち倒れしにぞ家人は時を移さず此の旨中部署に急報し警察官現場に出張取調しに其の時は血潮は室内に迸り見るも悲慘に仰臥し李姓女は主人内房にて家人の介抱を受けつゝありしを以て附近韓人醫士安昌浩を呼び來り應急手當を爲したるが二人共貧民にして治療出來ざるより大韓醫院に無料入院せしめたるが金士一は重傷なるも李姓女は輕傷なりと

女振り

兩角斌氏夫人 兩角濱江子

兩角氏のは少々後に回す心算であつたが女振り子の大失策に原因して今日になつた、其の大失策と云ふのは山邊とし子夫人の女振り中に兩角君の夫人は山邊氏の令孃みつ子（みねみの樣だが其れには理由がある、夫子は誤植）とした事である、負け客れは斯うである、濱江子夫人は昨年の春頃から山邊氏の宅に寄托せられて居たので同氏が假親になつて嫁入らせられたのだ、錯誤は此所に生じた次第だ、序を以て申すが山邊氏の令孃みつ子（三子）さんは當年十六歳京城高等女學校三年級に在學中で私を兩角さんの奥さんに爲て終つて酷いワと怨んで居られる相だ、何んと閉口の次第である、兩角君は三十八年出の獨法學士、産地は長野縣で卒業當時は東京下谷上車坂の小平さんの宅に居られた、夫人は東京音樂學校教師内田久米太郎氏の二女である、とし子夫人の感化もあり且つは性來の堅實な質で毫も浮華の點がない、嚴格な家庭の主婦たるに適して居る、お父さんが音樂家であるから從つて此の方面に趣味を持つて居らるゝのみでなく又ナカくの妙手である相だ、三四日以前の夜女中の某が大和町の通りで醉漢に戯れられたとかで蒼くなつて飛んで歸つたのに對して夫人曰く然う騒ぐものではありません沈着いて居れば決して間違ひはないものよ、と云はれたとか兩角君は京城地方裁判所檢事

●強賊と巡査の格闘

▽奮闘兩兇を捕縛す

宣川郡深川面杜洞桂德文事桂鎮淳なる者は隆熙二年八月頃より數名の無頼漢と共謀し數十個所に於て强盗を働き多額の金品を掠奪し巧に踪跡を晦まし出没自在の兇漢なりしを所管宣川警察署に於ては八方に手を配り鋭意捜査に盡力中此程に至り同署新府巡査駐在所勤務岡田小太郎氏は本犯が桂德文と僞名し貧家に潛伏し居る事を探知し同所詰巡査具昌樂と共に去廿九日同家宅に臨みたるに鎮淳は疾も夫と覺り逃走せんとしたりしを岡田巡査は飛鳥の如く躍び懸り同家衛門に組伏せたるも鎮淳は頑强に抵抗をしつゝ隙て懐中の短劍を拔放ち同巡査に切付けんとするより具巡査も落合ひ必死となりて採合ふ内鎮淳の父同正は突然棍棒を振翳し兩巡査を亂打し鎮淳を逸せしめんとせしも二巡査は屈せず遂に父子兩兇を捕縛し目下嚴重取調中との事なるが其際岡田巡査は左額に一ケ所の刀創の他頭部腕部に打撲傷具巡査は左手拇指に一ケ所の切創と頭部を亂打されたるも何れも輕傷にして數日を出ず全癒の見込なりと

●韓娼酌婦の大集會

▽韓娼妓組合大悶着

三年前より韓娼婦側にて組合所を南部詩谷に設け金明完所長となり毎月一回娼妓及び淫賣婦酒商婦等に對し身体檢査をなし一圓宛徴收し其金を經費に充て使用殘額金七百圓を銀行に貯蓄しありし處今回酒商中部典洞金玄泰は積置金七百圓を奪取の野心を起し目下所長運動中なるが六月一日南部詩谷娼妓組合所に酒商男女約二百人を集合せしめ自己に利益なる説を吐き自己を所長に推選すべく運動せしより其内容を知れる娼妓酒商共大に激昂し四五日頃千余名の娼妓及び淫賣婦集合の上大議論をなす筈なりと云へば近來の見物なるべしと云ふ

●韓人の毆打創傷

北部苑洞十九統一戸兩班李秀賢（四五）は元武官學校内宮内府主殿院番人姜周鉉（六三）が五月二十一日夕刻李秀賢の二男李寛應及三男某の兩人が同校内の池に魚類の放養しあるを戯に捉へんとしたるを引捕へ毆打し居る處に長男學部翻譯官李完應が行き謝罪したるを是又毆打したるより北部署に於て双方説諭受けしに父の李秀賢は憤慨に堪へ兼ね平民の奴等より毆打されて殘念なりと五月三十一日午前九時頃姜周鉉の宅に到り口論の末姜の頭部を自己の所持する杖を以て毆打し長さ三寸深さ骨膜に達する重傷を負せ姜は一時氣絶せしも應急手當を施したるより幸に生命は助りしと因に加害者は二日逮捕目下取調中

●トロックと情死

六月二日午後三時三十分頃西部岡崎町十五間道路に於ける東方の丘陵に韓人土方の壓死者ありたり壓死者は住所不明土方業鄭來文（三〇）にして丘陵は香川縣人龍山榮町土木請負業島村寅吉が昨年十一月以降引續き青坡二契洞鐵道線路脇の埋立地に使用の土石を發掘運搬しつゝある處にして毎日人夫約六七十名を督勵して堀鑿と運搬とに從事中午後三時頃鄭來文は他の人夫とトロックを押し來りしに堀鑿しつゝある土石亀裂を生じ危險を發見せしより人夫等は逃げたるに鄭來文は逃げ後れ終に崩壊せる土石幅一間長さ四間の下にトロック二臺と共に壓迫され即死したるものにて檢視の上死体は雇主に引渡したりと

店員評判記（四）

林田石炭部主任 和田篤朗君

産地は廣島縣廣島、明治十七年の出生で今より殆んど七年程以前から同店に關係を持つたのだ、主人の金次郎氏とは滿更の他人ではない相だ、和田君は一家を舉げて當地に移住して居る、住宅は壽町一丁目で今年四歳になる男のお子さんがある、年齢から云へばお若いものであるが總ての駈引はナカくお若くない、遣り口は活潑で思ひ切つたものだ、職掌柄因循は容さぬからでもあらふキビくとした活動振り此れが質屋の御主人とは思へぬ、申し落したが君のお宅では質屋を營業して御座る妻君目下御妊娠中で一二箇月中にはお芽出度がある筈である、爾うすると篤朗君は二人のお父つさんだ、樂しみが殖ねるから更らに一層活動されることであらふ。

●日韓人の泥掛論

南部樂善坊筆洞一統五戸人力車夫高永先（三二）は誠明坊里門坊三十四統十四戸李聖執（三二）が友人三四名と櫻井町日本人淫賣業見し中泥土を掴み李聖執に投げ付け衣服を汚損せしより互に喧嘩となりしも筆洞分遣所に於て説諭放免せらる

●郵便物延着理由

去る三十日の通信に「一年ぶりにて郵便到着」と題する記事中水產局の茂木五助氏が麗水より出せし信書は使の者が一年間打忘れ漸く今年投函したるものにして現に麗水局の日附印は本年五月二十三日午後六時より午後十二時迄京城局着は同本年五月二十八日午前九時より午前十一時迄の日附印あり直ちに同日二號便にて配達せしものにして全く郵便局の失態に非ざる由郵便局より訂正を申來れり

目と耳

▲壽座● 同座四日の替藝題は前「男達野晒吾助」中「攝州合邦ケ辻」淸華亭三次の出語りある筈なるが切は「明がらす雪責」役割は昨紙既載

▲浪花館● 四日の番組は左の如し 喜六清八滑稽道中（若三郎）無筆の失策（若明）三名所浩散船（笑三）新辻占（文喬）崇禪寺馬場の仇打（圓三）浮劇一幕物（座員惣出）三題咄（若遊三）大切所作事電氣應用

●御成座の落成式

▽浄瑠璃入人形芝居

南大門外地區一帶の有志聯合し繁榮期成會なる組合を組織し居れるが其の第一歩として御成町に劇場の建築を決議し組合員の出資に依り先般來工事中なりしが此の程に至り竣成したるを以て御成座と命名し四日、五日の兩夜落成式舉行の都合なるが其の興行物は未だ當地方に於て開演したることなき人形入浄瑠璃にて四日の番組左の如し

- 大序花園御殿の段 竹本三好太夫 糸 鶴澤文一
- 東山殿雅物語
- 同 義數御殿 口 竹本筑佐太夫 豊澤廣吉 切 竹本筑尾太夫 豊澤廣一
- 同 裏門九條通り 口 竹本三好太夫 鶴澤小吉
- 同 後室御殿 口 竹本筑登太夫 豊澤廣司 切 竹本筑佐太夫 竹本筑登太夫 豊澤廣一 鶴澤文吾
- 同 山名持豊館の段 切 竹本筑登太夫 豊竹岡八 糸 豊澤廣司
- 三十三間堂平太郎住家の段 豊澤廣一 豊澤廣尾
- 日吉丸三段目小牧山城中 竹本 鶴澤文吾

今日の運勢

六月四日舊四月廿六日 ●一白 諸事手控への事旅行轉移を見合せ盗難恐るべし△二黒 ●不振の日新事見合すべし相談 ●三碧 婚姻依囑貸借の事談に尤も忌む△三碧 ●轉業移轉談判訴訟葛藤の進行解決に吉不意の散財多き日とす△四綠 ●分離讓渡移轉に吉其他不統一の日新事及結合の事見合すべし△五黄 ●苦説多き日貸借授受交替取引に忌む尚紛爭盗害の恐れあり△六白 ●新事及突進急促の事凶水損水厄を畏るべし△七赤 ●常規小事は可大事新事は凶疾病衛生に留意すべし△八白 ●厄運日なり諸事手控への事紛爭盗害の恐れあり△九紫 ●豫備準備檢分調査探險相談に吉其他不快の日とす諸事手控への事（三一館判斷）

廣告

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

足袋 龍 醬油
麻裏和洋酒雑貨販賣
龍山元町三丁目（電話三二九番）
中谷商店

眼科
日曜及祭日は午後二時迄
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院（電話三三）
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

マッサージ術
僂麻質斯。坐骨神經痛。脊髓炎。腰筋骨
一切の術
小生儀内地に於て他年の衝斯業に從事致し居り多數の患者を全治せし經驗有之候處今般左記に出張所を設け廣く患者の需に應ず
京城西小門通（三ッ角）
佐世保より出張 井手

提灯 新規張替 大勉强
並に硝子看板印物調進
京城本町一丁目裏通
藤井提灯店

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

ラムネ みかん水
金水舍製
例年の通り純良なる「ラムネ」「みかん水」製造販賣候間多少に不拘御愛飲を乞ふ
漢城製藥所
藥劑師 渡邊悦之輔
京城大和町二丁目

熱心篤志多年斯道於迺研鑽奧旨恍然似有得者爾來推撰鑑斷與敗茫洋辨愈匪躊躇面輕落也
易斷觀相教授
館主 土御門派 陰陽師
京城本町五丁目
三一館

入院隨意
京城壽町三丁目（電話七八番）
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

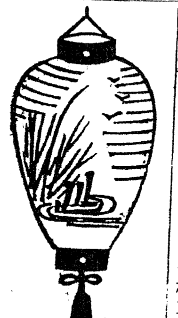
和洋農具並ニ養蠶具器械一式
純良農產種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木
觀賞用植物苗木類、肥料
京城東大門外纛島
興國農園種苗養成所
諸官衙御用達
京城本町一丁目六十五番戸
三輪商會
電話三八六番

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて
掛置時計三百個 懷中時計三千個 「タバン」及び「アンソニヤ」を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
時計御商 喜多金光堂本店 仁川本町三丁目（電話七〇五番）
時計御小賣 喜多金光堂支店 京城本町二丁目（電話一〇五番）
右特約店 金化堂時計舖 京城本町一丁目憲兵分遣所前（電話一三八番）
各地方より御注文は發送實費申受候

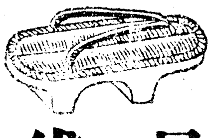


明治卅年七月創立
東京火災 海上運送保險株式會社
京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番
資本金一千萬圓
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候



六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢



東京
足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

きゝめのある 温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん病
よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき
膓胃加答兒、頭傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
（電話四百十三番）

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐ヂシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約
釜山 濹鹽合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京地新橋三六九二十番

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣、
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、
清國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

京城相生町南門湯橫（電話一二九四番）
自午前八時至午後九時
●花柳病專門附痔疾一般
●入院隨意●
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 盧田耕平

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
（新そば橫町）電話一五八三

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎
北陸道 大聖寺、宮津、敦賀、鯖江、金澤、小濱、福井、新潟、舞鶴、伏木、豐岡、鳥取
山陰道 米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、綱干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、和歌山、串本、御坊、田邊、新宮、丸龜、高松、撫養、德島、善通寺、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、尾道
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、門司、久留米、若津、中津、小倉、大分、行橋、後藤寺、佐伯、別府、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 木浦、羅州、仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、晉州、尙州、大邱、群山、馬山、安東縣、
清國
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

●滋養と牛乳●
●衛生と消毒●
馬車配達
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹六九〇番



株式會社 十八銀行 京城支店
京城南大門通
（電話四二〇）
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市築町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金（一口壹錢以上何程にても御預り申候）（利息日歩壹錢一厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一（電話一二五五番）

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬大賣出し
（電話二五一番）

京城明治町二丁目（佛國敎會前）
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

本院は毎日（日曜及祭日を除く外）午前九時より午後四時各専門醫に診療を依頼す
但松村和田兩先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
龍山榮町文平山麓
龍山居留民團囑托
龍山醫院
（電話六〇三番）

紙と印刷
諸紙 諸官衙御用
和洋帳簿
印刷
各種製本
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

印章彫刻
ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
諸官衙御用達
電話九三番
奥野岩太郎

金錢貸借電話讓渡
土地家屋老舖賣買
人事百般其他
京城明治町一丁目勸商場前（電話一二九八）
周旋業
明治屋

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等（三圓五十錢）
一等（二圓五十錢）
二等（一圓五十錢）
三等（一圓）